

## 「みなとみらい21新港地区都市景観協議地区「中区新港二丁目1番3号における特定都市景観形成行為」について」

## 【計画地の特性と建築概要】

- ・ 計画地 : 中区新港二丁目1番3号他
- ・ 地域地区等 : 商業地域 第7種高度地区 みなとみらい21新港地区地区計画 景観計画 (みなとみらい21新港地区)
- ・ 敷地特性 : 本敷地は、南側及び西側が内水域に面し、東側が賑わいをつなぐ回遊路と運河パークに接する敷地である。さらに広大な敷地であり、対岸からの遠景、自動車軸のシーケンス景観を形成する大変重要な位置である。このため、魅力ある街並みの形成が必要な敷地である。
- ・ 用途 : 集会場 (結婚式場)
- ・ 敷地面積 : 17,738㎡
- ・ 高さ (階数) : 44.9m (工作物含む) (地下-、地上5階)
- ・ 床面積の合計 : 16,350㎡

## 【計画趣旨概要と横浜市の協議の方針 (案)】

## 計画趣旨説明

配慮すべき「行為指針」		都市景観の形成に関する申出者の考え方	横浜市の協議の方針 (案)
1 建物高さに関する事項 (ガイドライン P20)			
①	(A地区) 建築物の高さが31mを超える場合、赤レンガ倉庫や海への眺望を阻害せず、周辺に圧迫感を与えないよう形態意匠を工夫する。	・建物高さ31mを超える部分は周辺から赤レンガ倉庫や海への眺望を阻害しない計画とします。 ・水際プロムナード側に対して建物ボリュームをセットバックさせ、観覧車と一体に見せることにより、周囲に圧迫感を与えない計画とします。	31mを超える部分だけではなく建物全体として、赤レンガ倉庫や海への眺望を阻害せず、周辺に圧迫感を与えないよう形態意匠の工夫をしてください。
2 見通し景観の確保に関する事項 (ガイドライン P22)			
①	「視点場6」から赤レンガ倉庫への眺望を確保する見通し景観を形成する。	・「見通し景観軸」内に建築物・工作物は、設置しません。	申出者の考え方とおおり 「見通し景観軸」内に建築物・工作物は、設置しません。」としてください。
②	「見通し景観軸」上の植栽や盛土は、魅力ある見通し景観を確保するような配置とする。	・「見通し景観軸」内に建築物・工作物は、設置しません。	申出者の考え方とおおり 「見通し景観軸」内に建築物・工作物は、設置しません。」としてください。
3 水際空間の確保に関する事項 (ガイドライン P25)			
①	「水際線プロムナード」は、水際の連続性を感じられるしつらえとする。	・水際線プロムナードは護岸より10m、コーナー部分は22mセットバックして、開放します。	「水際線プロムナード」は空間を確保するだけでなく、水際の連続性を感じられるしつらえとしてください。
②	「水際線プロムナード」の植栽は、敷地側から海が感じられるよう視線が通る樹種や配置とする。	・建築物側の緑地や店舗などと一体化し、連続ある開放的な空間を計画します。 ・緑地は、視線が通り、海が感じられるように、配置します。	敷地側から海が感じられ視線が通るような樹種や配置としてください。
⑤	「水際線プロムナード」に接する敷地は、「水際線プロムナード」に向かって開放的な空間を設け、賑わいを創出する利用や植栽の設置などにより、ゆとりある水際空間の演出を行う。	・「水際線プロムナード」と、当該敷地との管理上のフェンスは、見通しのきく縦格子のフェンスとし、また隣接して植栽を設置することで、開放的でゆとりある水際空間の演出を行ないます。 ・東側のチャペルとガーデンは祝福の「フラワーシャワー・ページェント」が垣間見える「開かれたウェディング施設」とします。 ・「水際線プロムナード」に隣接する1階にカフェやギフト・ドレスサロンを配置し、楽しく開放的で賑わいのある水際空間を演出します。	水際線プロムナードに接する敷地は、「水際線プロムナード」に向かって開放的な空間を設け、賑わいを創出する利用や植栽の設置により水際線プロムナードと一体的な外部空間を確保することで、ゆとりある水際空間の演出を行ってください。

⑥	「水際線プロムナード」に接する敷地の建築物は、「水際線プロムナード」に向かって大きな開口や通り抜け通路を設けるなど開放的なしつらえとし、水際に対して圧迫感を与えない形態意匠とする。	・「水際線プロムナード」に面して、大きな閉鎖的な壁を設けず、アーケードやガラス張りのカフェや植栽を設け、プロムナードに対して圧迫感を与えない形態意匠とします。	「水際線プロムナード」に接する敷地の建築物は、「水際線プロムナード」に向かって大きな開口や通り抜け通路を設けるなど開放的なしつらえとし、水際に対して圧迫感を与えない形態意匠としてください。
⑦	「水際線プロムナード」に接する敷地の建築物には、「水際線プロムナード」に面して一体的に市民が利用できる店舗等の空間を配置する。	・「水際線プロムナード」に接して緑地を設けベンチを配置し、市民のいこいの場の雰囲気づくりに役立つ計画とします。 ・「水際線プロムナード」に面してカフェやガーデンを配置し開放的な空間をつくりまします。	「水際線プロムナード」に接する敷地の建築物には、「水際線プロムナード」に面して一体的に市民が利用できる店舗等の空間を配置してください。
4 街並み形成に関する事項 (ガイドライン P27)			
②	道路などに接する部分に設置する垣又はさくは、開放感のある形態意匠とする。	・閉店時のセキュリティ上の敷地境界フェンスは、縦格子のアイアンフェンスとし開放感のある形態意匠とします。	道路などに接する部分に設置する垣又はさくは、管理上最小限とし、開放感のある形態意匠としてください。
③	植栽は、街路樹や緑地などと調和のとれた樹種とする。	・樹種は常緑樹を中心として選定し、年間を通して緑が楽しめる計画とします。	街路樹や緑地と調和のとれた樹種としてください。
④	建築物の道路に面する低層部には、店舗や市民が利用できる空間など、街に活気を生みだすための空間を配置する。	・道路に接して緑地を設け、街の景観づくりに役立つ計画とします。 ・東側のチャペルは地域開放し、ミニコンサート会場などとして利用可能な施設とします。 ・運河パーク側に庭園を設け、街のにぎわい創出に寄与します。	港湾4号線沿いの建築物の道路に面する低層部には、店舗や市民が利用できる空間を配置し、街に活気を生みだすための空間を配置してください。
③	街に活気を生みだすための空間の外壁は、ショーウィンドウ等の大型の開口部を設けるなど、歩行者空間から賑わいをうかがえる形態意匠とする。	・ガラス張りのカフェを中心に店舗の開口を広くとり、その前には底のあるテラスと緑地を配置し、プロムナードから賑わいのある空間がうかがえる形態意匠とします。	港湾4号線沿いの建築物の道路に面する部分の低層部の外壁は、ショーウィンドウ等の大型の開口部を設けるなど、歩行者空間から賑わいをうかがえる形態意匠としてください。
⑦	壁面の緑化などにより、街に彩りを与える工夫を行う。	・運河側に面して配置する各階のパーティ会場にはガーデンを配置し、緑ゆたかな景観づくりに寄与する計画とします。	壁面の緑化などにより、街に彩りを与える工夫を行ってください。
5 建物等のデザインに関する事項 (ガイドライン P31)			
①	建築物は、街並みにおける建築物の圧迫感を低減するため、板状を避け分節化などの工夫を行う。	・水際線プロムナードに対して、建物ボリュームをセットバックさせ、圧迫感を軽減する計画としています。 ・建物外壁は凹凸をつけ、またガーデンの緑地、ガラス張のアトリウムなど外壁の素材や形状も変え、建物ボリュームを分節化させた計画とします。 ・チャペルの聖堂屋根を中心にバランスよく高低差をつけ、安定感のある形態とします。	圧迫感を与えないための更なる工夫を行ってください。
③	建築物は、歴史やみなとらしさを演出する個性と風格のある形態意匠とする。 ア 新港地区全体としてまとまりのある景観を創出するため、歴史的シンボル施設である「赤レンガ倉庫」に象徴される歴史的資源と調和する形態意匠とする。 イ “島”としての立地を活かし、海や対岸からの眺望に配慮した形態意匠とする。 ウ ガラス面への張り紙の設置は避け、風格のある形態意匠とする。 エ 新港地区の入口に位置する建築物は、“島”の玄関が感じられる形態意匠とする。 オ 奇抜なものを避け、風格のある形態意匠とする。	・外観デザインは新港ふ頭や汽船道など横浜の歴史や文化を感じさせる欧風的な意匠をベースとします。それに加えて開放性のあるガラスなどを施した現代的な要素を融合させ、歴史と近代が調和する形態意匠とします。 ・海岸に向かって建築物の高さを抑え、セットバック部分にはガーデンを配置し、「水際線プロムナード」への圧迫感を軽減し、かつ対岸からのスカイライン形成や眺望に配慮した計画とします。 ・各方面からの視線軸に正対する建物配置とし、“島”の玄関が感じられる美しい街並みとします。	建築物は、新港地区の歴史やみなとらしさを演出する個性と風格のある形態意匠としてください。 ア 新港地区全体としてまとまりのある景観を創出するため、歴史的シンボル施設である「赤レンガ倉庫」に象徴される歴史的資源と調和する形態意匠としてください。 イ “島”としての立地を活かし、海や対岸からの眺望に配慮した形態意匠としてください。 ウ ガラス面への張り紙の設置は避け、風格のある形態意匠としてください。 オ 奇抜なものを避け、風格のある形態意匠としてください。

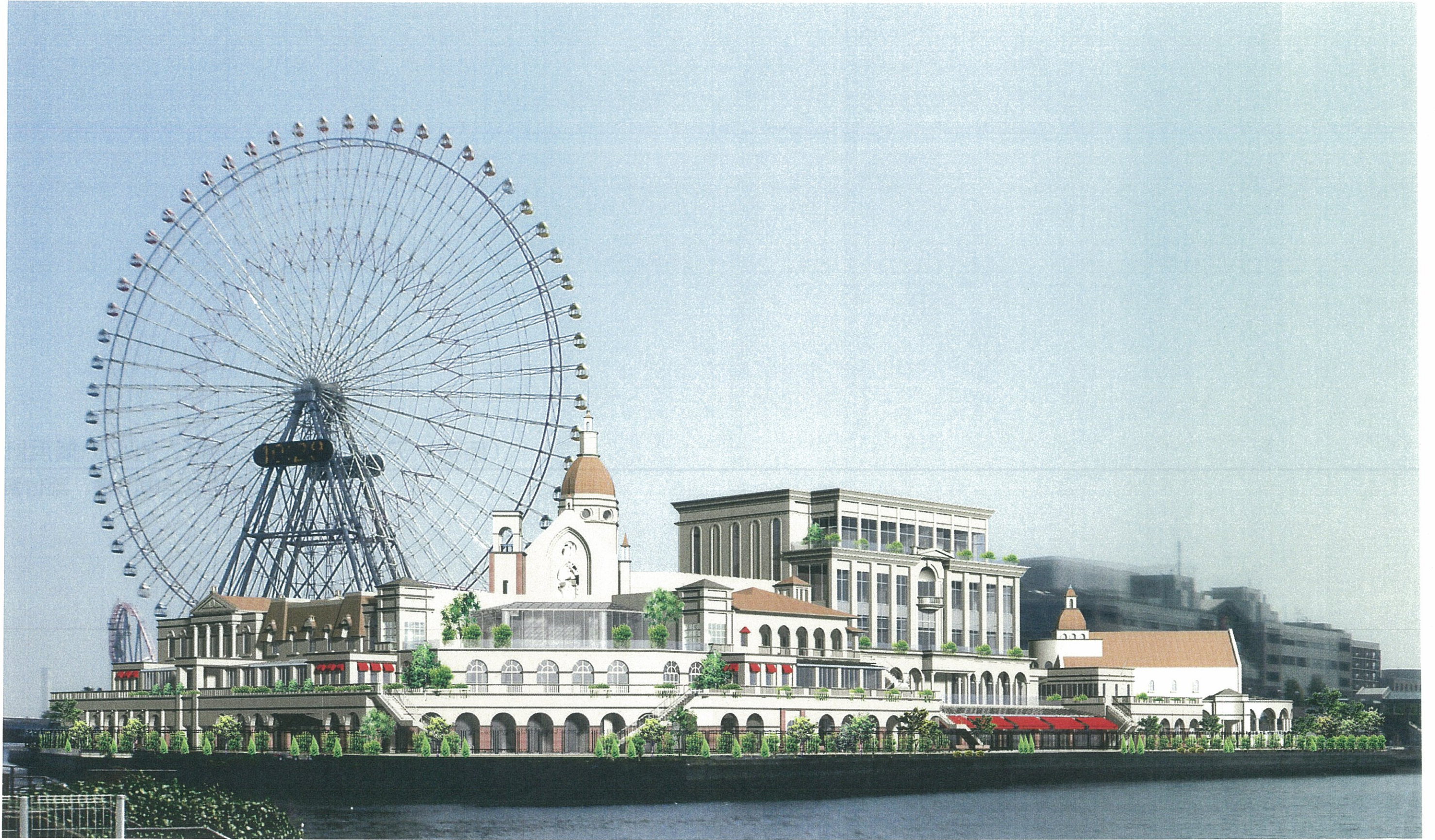
④	建築物は、対岸から赤レンガ倉庫への眺望を意識した配置及び高さとする。		建築物は、対岸から赤レンガ倉庫への眺望を意識した配置及び高さとしてください。
⑤	建築物の頭頂部は、引き締まった風格が感じられ、周辺の街並みと調和するよう工夫する。	頭頂部は、引き締まった風格を感じさせるデザインとします。	建築物の頭頂部は引き締まった風格が感じられることとともに周辺の街並みと調和した形態意匠としてください。
⑥	建築物の外壁は、歴史性を表現するレンガや石材又はこれらの質感を持つ素材と、水際に対して開放性を高めるガラスを組み合わせた形態意匠とする。	・水際線プロムナードに面した回廊の柱には新港地区のアイデンティティであるレンガ調のタイルを使用します。 ・その他の外壁は歴史性を感じさせる石又は石風の塗装とし、また、1階のカフェやサロン、3階アトリウムや、積層部分の外壁をガラスとし、開放性を高めます。	レンガや石材またはこれらの質感をもつ素材と、水際に対して開放性を高めるガラスを組み合わせた形態意匠としてください。
⑦	工作物は、新港地区内の建築物と調和し、歴史やみなとらしさを演出する個性と風格ある形態意匠とする。	・ゲートや、外構照明、建物上の工作物などは歴史やみなとらしさを演出するデザインを取り入れます。	工作物は、新港地区内の建築物と調和し、歴史やみなとらしさを演出する個性と風格ある形態意匠としてください。
6 色彩に関する事項 (ガイドライン P34)			
①	建築物の外壁及び工作物の色彩は、推奨色とすることにより、新港地区としてまとまりのある街並みをつくる。	・表6-1の推奨色にて、外壁及び工作物の色彩を統一し、新港地区内での街並みの調和を図ります。	推奨色となっていない箇所については、建築物の外壁及び工作物の色彩は、推奨色としてください。
7 屋外広告物に関する事項 (ガイドライン P37)			
①	建築物又は工作物の中層部又は高層部に設置又は表示する屋外広告物は、落ち着いた中景及び遠景を創出する	・現状は計画はありません。	申出者の考え方とおおり、中高層部へ屋外広告物は設置しないこととしてください。
②	建築物又は工作物の低層部に設置又は表示する屋外広告物は、賑わいに効果的なデザインや色彩等を工夫し、質の高い広告景観を創出する。	・表7-1に則して、屋外広告物を計画します。	具体的な規格が決まった段階で別途協議をしてください。
8 屋根・屋上に関する事項 (ガイドライン P42)			
①	建築物は、屋上緑化や屋根形状の工夫により、周辺地区からの見下ろしに対し、風格を感じられる見下ろし景観を創出する	・設備機器等は目隠し壁またはルーバー等又は植栽にて周囲から容易に望見しにくいよう遮蔽します。また、設備機器等の配置は見下ろし景観を考慮して配置します。	建築物は、屋上緑化や屋根形状の工夫により、周辺地区からの見下ろしに対し、風格を感じられる見下ろし景観を創出してください。
9 駐車場・駐輪施設に関する事項 (ガイドライン P43)			
①	建築物の内部に取り込むなど、街並みの連続性を阻害しないようにし、やむを得ず建築物の外部に設置する場合は、周辺から駐車車両が見えないよう、駐車場又は駐輪施設の外周及び施設内に植栽を配置する等の工夫を行う。	・駐車場が、歩道から見えにくいように歩道に沿って植栽を列植します。	駐車場について十分な修景方法について図面による説明を明確にした上で、駐車場の外周及び施設内に植栽を配置する等の工夫を行ってください。
③	出入口は、歩行者の安全性を確保しつつ、植栽等の設置により街並みの連続性を阻害しないしつらえとする。	・出入口に至る道路には、植栽や照明ポールを配置し、歩行者の安全性を確保しつつ、街並みの連続性を阻害しないようにします。	出入口の修景について図面による説明を明確にした上で、歩行者の安全性を確保しつつ、植栽等の設置により街並みの連続性を阻害しないしつらえとしてください。
10 夜間景観の演出に関する事項 (ガイドライン P44)			
①	建築物の低層部の壁面や敷地内の歩行者空間に設置する照明は、夜間の安全性と賑わいをつくるため、道路照明と調和のとれたものとする。	・低層部や歩行者空間に設置する照明は、夜間の安全性と賑わいをつくるため、道路照明と調和のとれたものとします。	具体的な照明演出の方法について明確にしたうえで、歩行者空間に設置する照明は夜間の安全性と賑わいをつくる照明としてください。
②	魅力ある街路空間を演出するため、建築物内部の照明が外部に漏れるようしつらえの工夫を行う。	・低層部はガラス張りが多いため、店舗及び回廊から照明光が水際線プロムナードに漏れ、賑わいを演出します。	具体的な照明演出の方法について明確にしたうえで、魅力ある街路空間を演出するための工夫を行ってください。
③	夜間景観を演出する照明は、温かみのある色温度3,000ケルビ	・ライトアップなど照明は、温かみのある光源を主体に計画します。	夜間景観を演出する照明は、温かみのある色温度3,000ケルビン程度の光源を用いて

	ン程度の光源を用いる。		ください。
④	水際線の照明は、水面への映り込みを意識して低位置に連続して行うなど、海からの眺望や周辺地区からの見下ろし景観を演出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水際線プロムナード沿いには、連続したアーチを設けカフェやサロンなどから漏れる照明や、連続的な街灯により、賑やかさを演出します。</li> <li>・対岸からは、夜間照明の水面への映り込みを意識した計画とします。</li> </ul>	具体的な照明演出の方法について明確にし、植栽計画との整合性を説明したうえで、水際線の照明は、水面への映り込みを意識して低位置に連続して行うなど、海からの眺望や周辺地区からの見下ろし景観を演出してください。
⑤	夜間の魅力あるスカイラインを創出し、遠景における街の象徴性を表現するため、建築物の頭頂部に照明の演出を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の頭頂部はライトアップし、夜間の魅力あるスカイラインを創出し、遠景からも魅力ある夜間景観をつくれます。</li> </ul>	夜間の魅力あるスカイラインを創出し、遠景における街の象徴性を表現するため、建築物の頭頂部に照明の演出を行ってください。

(仮称) アニヴェルセルみなとみらい横浜計画

---

都市景観協議申出書 添付資料



完成予想図

## 計画概要

### はじめに

アニヴェルセル株式会社は横浜市中区新港二丁目1番3号他にブライダル施設の出店を計画しております。当社は「幸せは、祝福されると記念日になる。」をテーマに、表参道神宮前、有明、豊洲など全国に13店舗のウェディング施設を展開しております。

アニヴェルセルとは記念日を意味し、結婚する若いカップルに、一生の記念日となるウェディングシーンを、明るく楽しい夢のある店舗でご提供します。

出店の立地は若い男女に人気がある街で、通行している一般の人々が、一緒に拍手で祝福してくれる「フラワーシャワー・ページェント」を特徴に、開かれたウェディングを行っております。結婚予備軍の若い男女にウェディングの楽しさと幸せと一緒に感動して頂き、自身の憧れのウェディングシーンを描いて頂くことにより、今後、益々少子高齢化が継続して予測される時代に、私たちは「結婚したいカップルを増やす」ことで社会貢献して参ります。

計画地は、みなとみらい地区の「ランドマークタワー」「クイーンズスクエア」「日本丸メモリアルパーク」「汽船道」「コスモワールド」などを対岸に臨む運河に面しており、開かれたウェディング施設として最適な立地です。

当社の基幹店舗としての出店にあたり、敷地の特性や周辺状況、景観特性をふまえ、「景観ガイドライン」に沿った景観形成に寄与する施設づくりを行います。また、アニヴェルセルの「開かれたウェディング」をこの地で展開することで、プロムナードや汽船道など、周辺のにぎわい創出を図り、近隣の文化・商業施設と連携した当地区の集客増加や、継続的な事業による横浜市の発展に貢献する施設とするべく計画を進めて参ります。



アニヴェルセルの開かれたウェディング

### 施設概要

- 計画地 : 横浜市中区新港二丁目1番3号他
- 地域地区 : 商業地域、第7種高度地区、みなとみらい21新港地区地区計画、景観計画・都市環境協議地区（みなとみらい21新港地区）、横浜臨港地区
- 用途 : 集会場（結婚式場・カフェ・事務所・駐車場その他付帯設備）
- 敷地面積 : 約17,738㎡（水際線プロムナード提供部分含む）
- 建物高さ : GL+45m（工作物含む）
- 階数 : 地上5階 塔屋1階建て
- 延面積 : 約16,350㎡

### 事業環境コンセプト

アニヴェルセルは、「人」にフォーカスして、人が自然に集まり、周囲の人々も幸福感を共感できるウェディングの事業環境を創造する。

- ・周辺から良く視認できる立地であるため、各方向からの視線軸に正対する建物を配置して美しい街並みを形成する。
- ・幅広い女性ターゲットに支持される様、適度に楽しいデザイン要素を織り込み、外装にバリエーションをつける。
- ・バランス良く高低差をつけた建築デザインにより美しい安定感を表現する。

#### <環境づくりのコンセプト>

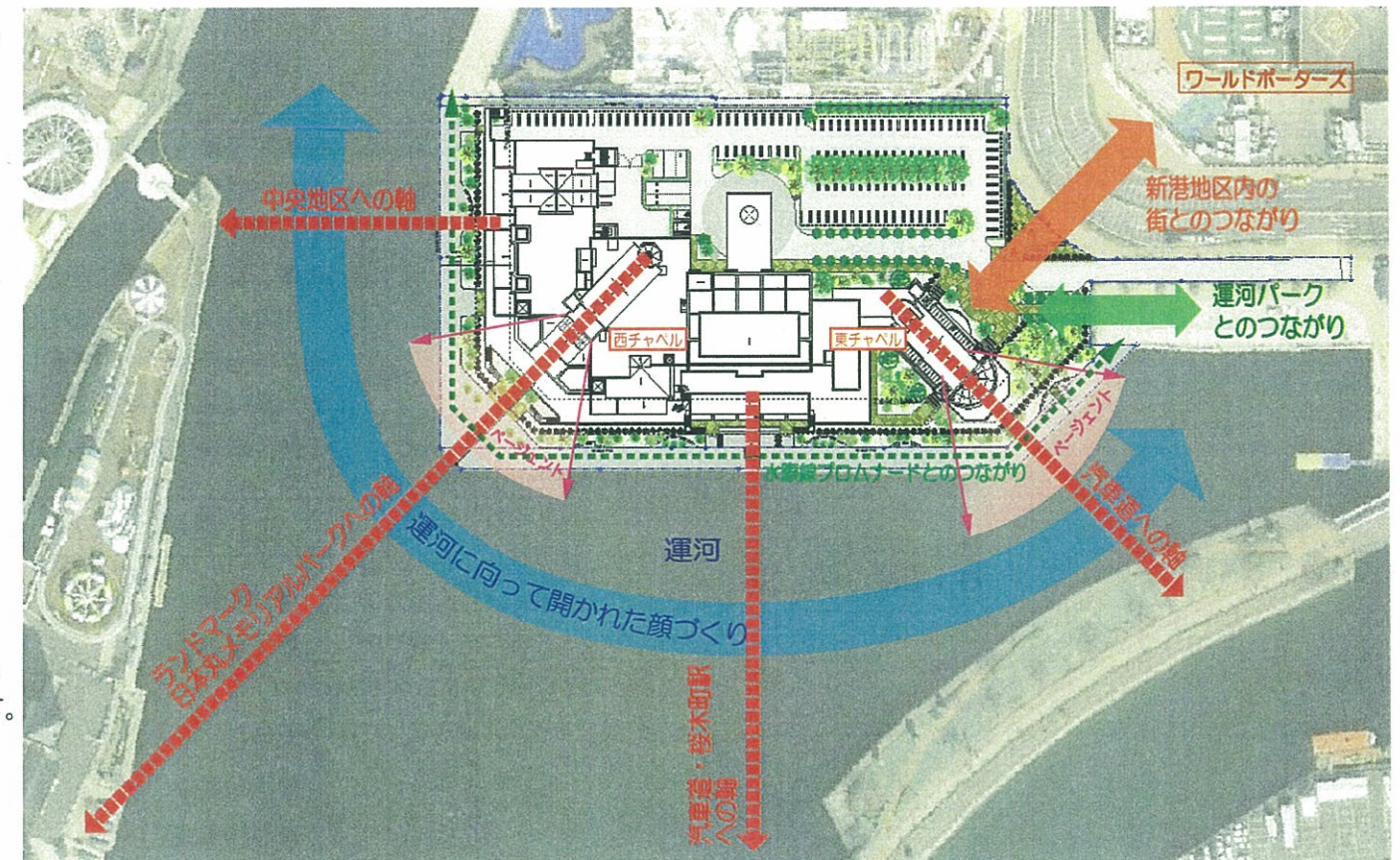
- ・汽船道から見える当施設は、夢と希望が感じられる、自然の光に満ちた、明るく楽しい環境にする。
- ・周辺にコスモワールドや観覧車があり、若年層や女性の来街が多いため、建物に美しさと優しさと楽しさを表現する。
- ・若い男女やカップルが年間300万人が訪れる、コスモワールドと相乗効果が出る環境を創造する。
- ・運河に向けてパーティ会場やガーデンを配置することにより、汽船道およびみなとみらい地区に、「見る」「見られる」環境をつくる。
- ・汽船道を歩く人々が一緒に若いカップルを祝福するシーンを演出して、「開かれたウェディング」を実施する。
- ・プロムナード側へカフェを計画し、ご来館されるお客様を誘導することで、水際のにぎわいを演出する。
- ・公道側に入口を配置する事により、ワールドポーターズ・コスモワールドおよびセンター地区の各施設との連携を計画する。
- ・外周部および披露宴会場の運河側にガーデンを配置し、緑化に配慮する。
- ・横浜市民の皆さまに愛されるよう、婚礼以外のお客さまにもご利用いただける施設を計画する。

# 11 みなとの情景の演出

水際線の風景創出  
連続性のある街並形成  
運河との一体感

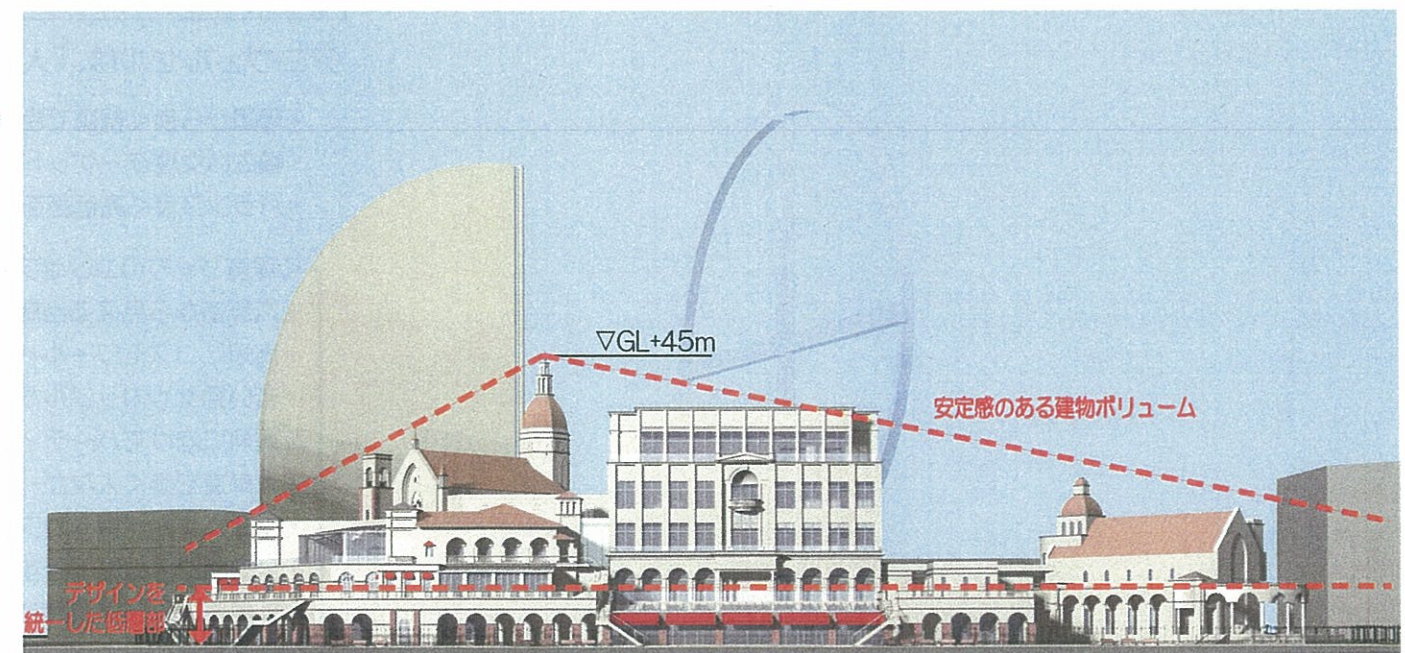
## ■都市とつながりのある建物配置

- ・周辺から良く視認できる立地を考慮し、各方向からの視線軸に正対する建物配置とし、美しい街並みを形成します。
- ・運河に向けてパーティ会場やガーデンを配置することにより、自動車およびみなとみらい地区に、「見る」「見られる」環境を作ります。
- ・水際線プロムナードに沿って建物ボリュームを配置し、にぎわい創出に配慮した計画とします。
- ・視線軸に合わせて「フラワーシャワー・ページェント」を行い、にぎわい創出に寄与します。  
また、自動車を歩く人々が一緒に若いカップルを祝福するシーンを演出して、「開かれたウェディング」を展開します。



## ■建築群としてまとまりのあるボリューム構成

- ・1階部分はレンガを使ったアーチ形状で統一したデザインとし、連続した水際線プロムナードの風景を創出します。
- ・西チャペルの聖堂屋根を頂点として、バランス良く高低差をつけた、安定感のある建物ボリュームとします。





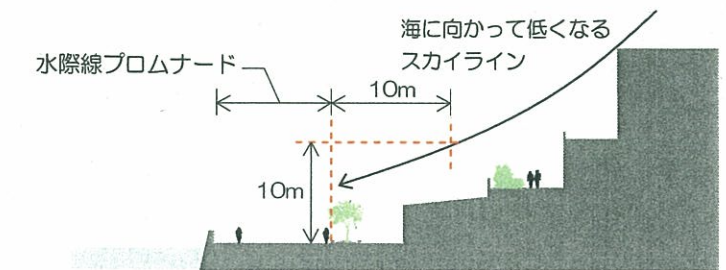
周辺への圧迫感を低減させるため、水際に向かって建物高さを抑え、  
外壁を分節し、多様な外観を計画します

■景観に配慮した建物デザイン

- ・建物ボリュームを階毎にセットバックさせ、自動車道や運河パークに対して圧迫感のない形態とします。(図1)
- ・水際に向かって建物高さを低くします。(図2)
- ・建物の外壁の色彩は『新港地区街並み景観ガイドライン』表6-1の範囲とし、新港地区としてまとまりのある街並みを形成します。
- ・設備機器、又は駐車場等は柵・植栽等でゆるやかに遮蔽します。
- ・建物周辺には緑地帯を設け、セキュリティのフェンスは透過性のある縦格子のアイアンフェンスとします。(図3)



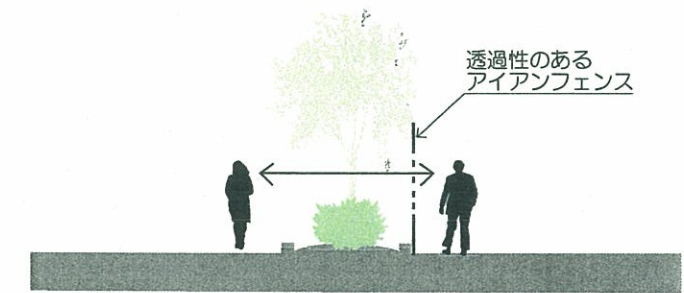
(図1)



(図2)

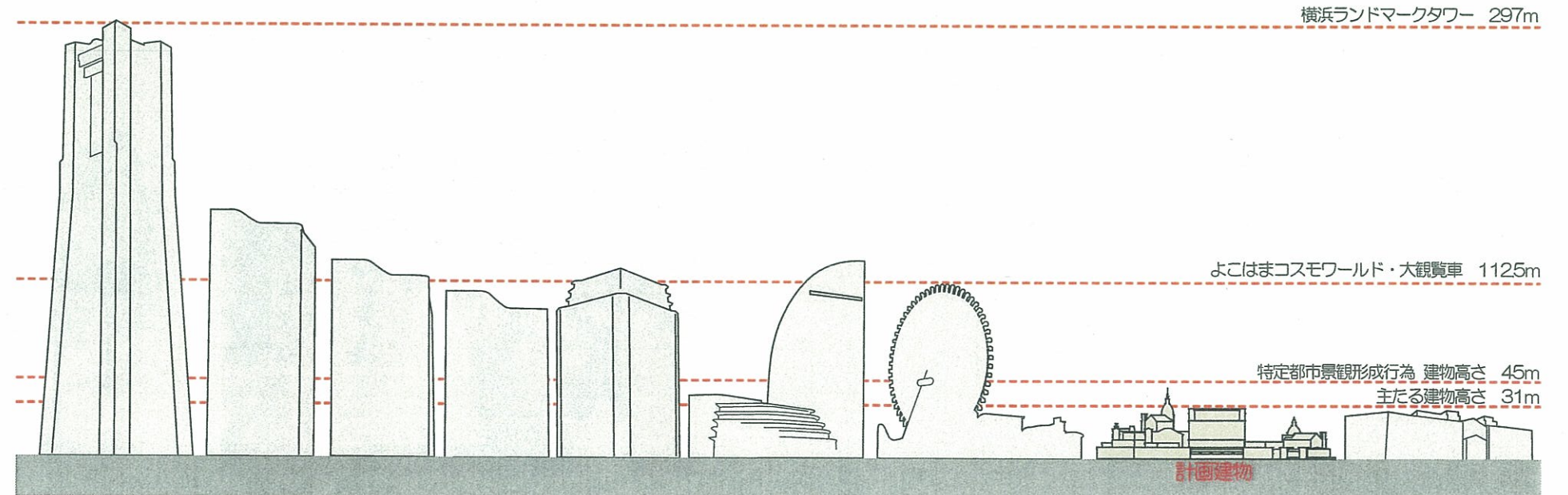
■多様な外観による”楽しさ”“賑やかさ”“歴史性”の演出

- ・凹凸ある平面計画とし、建物ボリュームを分節化します。
- ・2Fにガーデンを設置し、立体的に緑化を計画します。
- ・外壁は歴史性を感じさせるレンガや石、又は石風塗装をベースとし開放感のあるガラスと融合させます。
- ・ステンドグラス、金物等で歴史性を演出します。
- ・邸宅風の勾配屋根は単調さを軽減し歴史性を感じさせます。
- ・建物をライトアップし、夜の風景を演出します。



(図3)

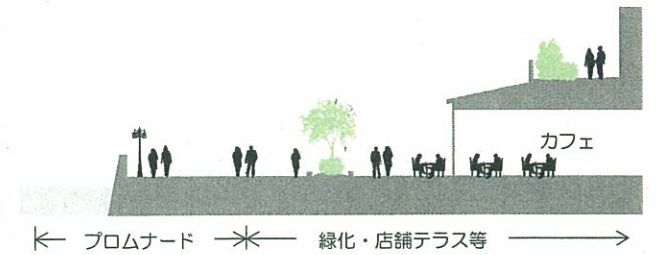
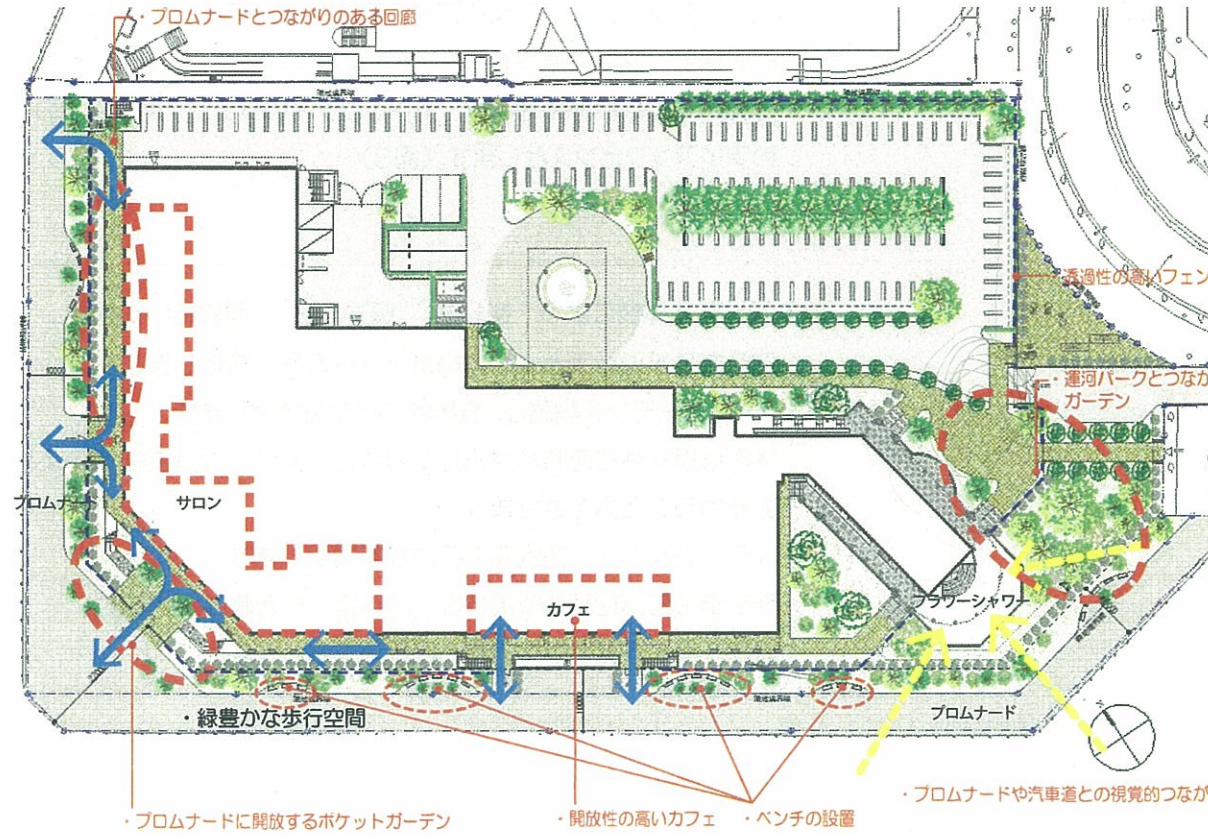
■周辺の環境に調和させた建物のボリューム



水際に向かってゆとりを持ち、連続性が感じられる建物とし、  
開放的で歩いて楽しい、賑わいのある水際線の風景をつくります

■水際線プロムナードと調和した計画とします。

- ・水際線プロムナードに面して店舗や緑地を配置し、開放的にぎわいのある空間を計画します。
- ・施設の中央にカフェを配置し、プロムナード側に開放します。
- ・建物南西側のサロン廻りに回廊を設け、プロムナードとのつながりを図ります。
- ・結婚式のイベントである「フラワーシャワー・ページェント」を、プロムナードや自動車道に対して「見せる」しつらえとし、視覚的なつながりを図ります。



■開かれたウェディング

- ・街行く人々にも祝福していただくことがアニヴェルセルのコンセプトです。結婚式のイベントである「フラワーシャワー・ページェント」を、プロムナードや自動車道に向かって行い、街とのつながりを図ります。



「フラワーシャワー・ページェント」のイメージ

■水際線プロムナードの演出

- ・プロムナードに面して、緑地やベンチを配置し、美しく、歩行者が楽しめる水際空間を創出します。



ベンチのある緑豊かなプロムナード

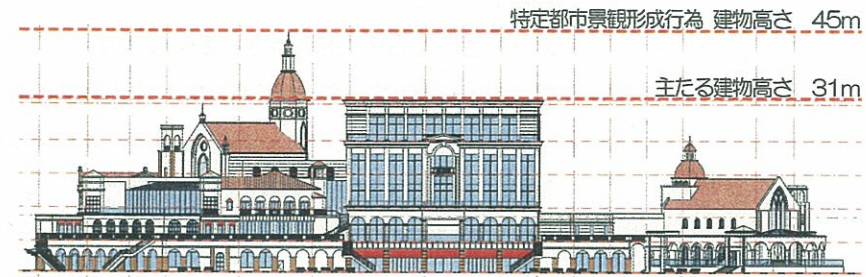


プロムナードに開放するポケットパーク

## 新港地区の歴史性を意識し、街並形成に配慮します

### ■見通し景観の確保

- ・当敷地は「見通し景観軸」内に該当しません。
- ・西チャペルの聖堂屋根以外の主たる建物高さは、31m未満の高さで抑え、街並み景観形成に配慮します。



〈見通し景観軸〉

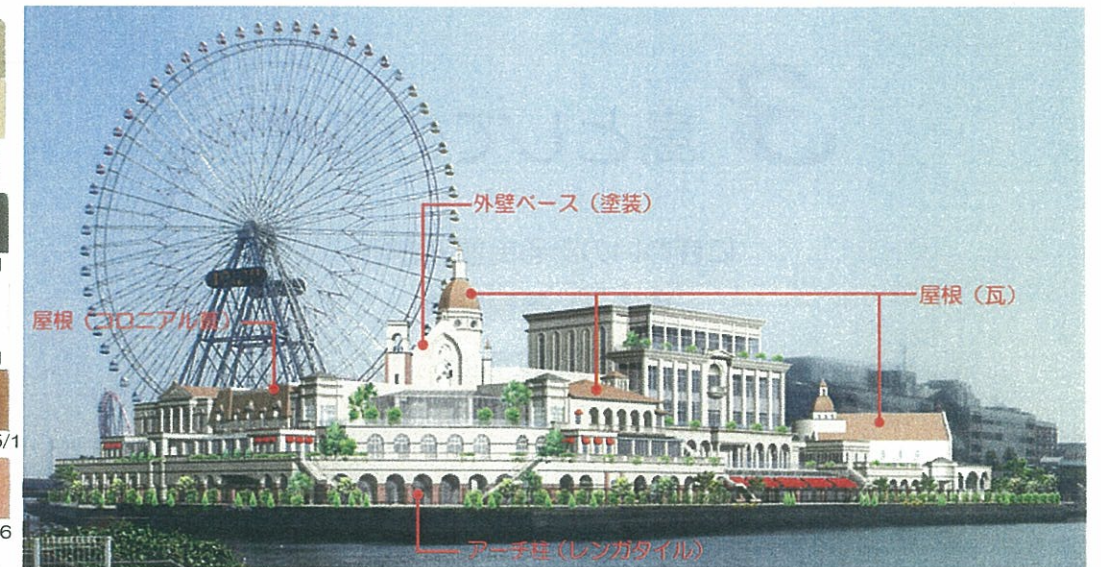
# 2 歴史の継承

見通し景観の確保  
色彩計画  
歴史・文化のマインド継承

### ■新港地区内の建物としての色彩計画（案）

- ・建築物の外壁の色彩は、「景観ガイドライン」の表 6-1 に準じ、まとまりのある街並み形成に配慮します。
- ・多様性を演出しつつ、外装は、アースカラーを基調とし、建築群としての一体感を創出します。
- ・1階回廊廻りには、新港地区のアイデンティティである赤レンガに準ずる色彩計画とします。

B 15-60F	
B 15-70H	
屋根（瓦）	5YR6/3 5YR7/4
B 15-40B	
屋根（コロニアル葺）	5YR4/1
B 15-85B	
外壁ベース（塗装）	5YR8.5/1
B 12-50L	
回廊柱（レンガタイル）	2.5YR5/1
B 09-60L	
外構床（タイル）	10R6/6
〈色彩計画イメージ〉	

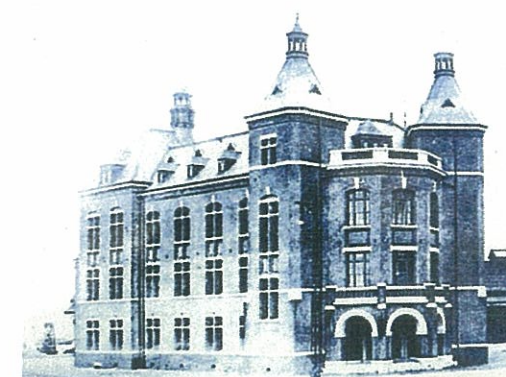


### ■「旅立ちの場」としての歴史・文化のマインド継承

#### 〈新港地区の歴史的背景〉

- ・新港ふ頭には、赤レンガ倉庫と同様に、「夢と希望を持って海外に旅立つ人々の歴史」があった。
- ・新港ふ頭の9号岸壁から豪華客船で、欧州航路に旅立つ人々と地中海文化の交流。
- ・夢と希望に満ちた旅立ちの思いを、ゆっくりと運んだボートトレインと汽船道。

- ・「西洋」との文化の交流の場であった新港地区に、かつて欧風建築（旧税関事務所など）が建っていた歴史的背景をふまえ、欧風様式のモチーフを展開した外観を創出します。
- ・夢と希望に満ちた「旅立ちの場」であった新港地区の歴史と、結婚するカップルの「旅立ちの場」をオーバーラップさせて、ブライダル施設として美しく楽しく優しい建築デザインを展開します。



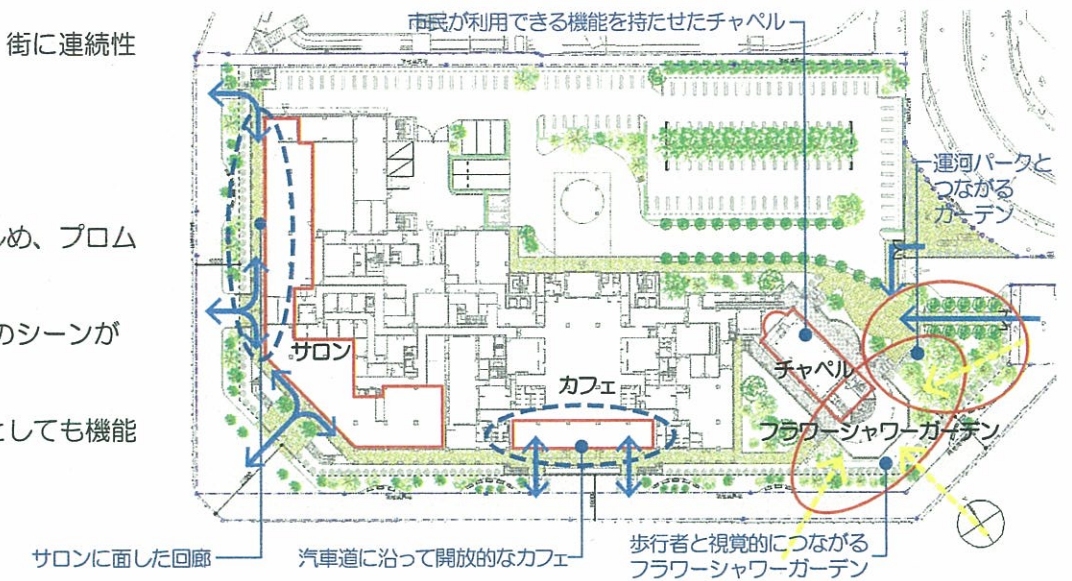
旧税関事務所



新港ふ頭（出展：横浜港物語みなとひとの記）

### 歩いて楽しく、にぎわいのある街並みをつくります

- ・建物1階に楽しく開放性の高い機能を配置し地区内の回遊性を高め、街に連続性のあるにぎわいと活気を創出します。
- ・自動車道側に開放性の高いカフェを設けます。  
カフェは彩りのあるオーニングや植栽により楽しさを演出します。
- ・西側サロンは、ドレスサロンやギフトなどのショーウィンドウが楽しめ、プロムナードとつながりのある回廊を設けます。
- ・フラワーシャワーガーデンでは、プライダルのイベントである祝福のシーンが垣間見られ、街のにぎわい創出に寄与します。
- ・東側チャペルは市民が利用できるギャラリーやミニコンサート会場としても機能させ、街に対して活気を生み出す空間とします。



## 3 島としての個性

にぎわいのある街並み創出  
見下ろし景観配慮  
夜間景観の演出

### 周辺からの見下ろし景観に配慮し、島としてのまとまりをつくります

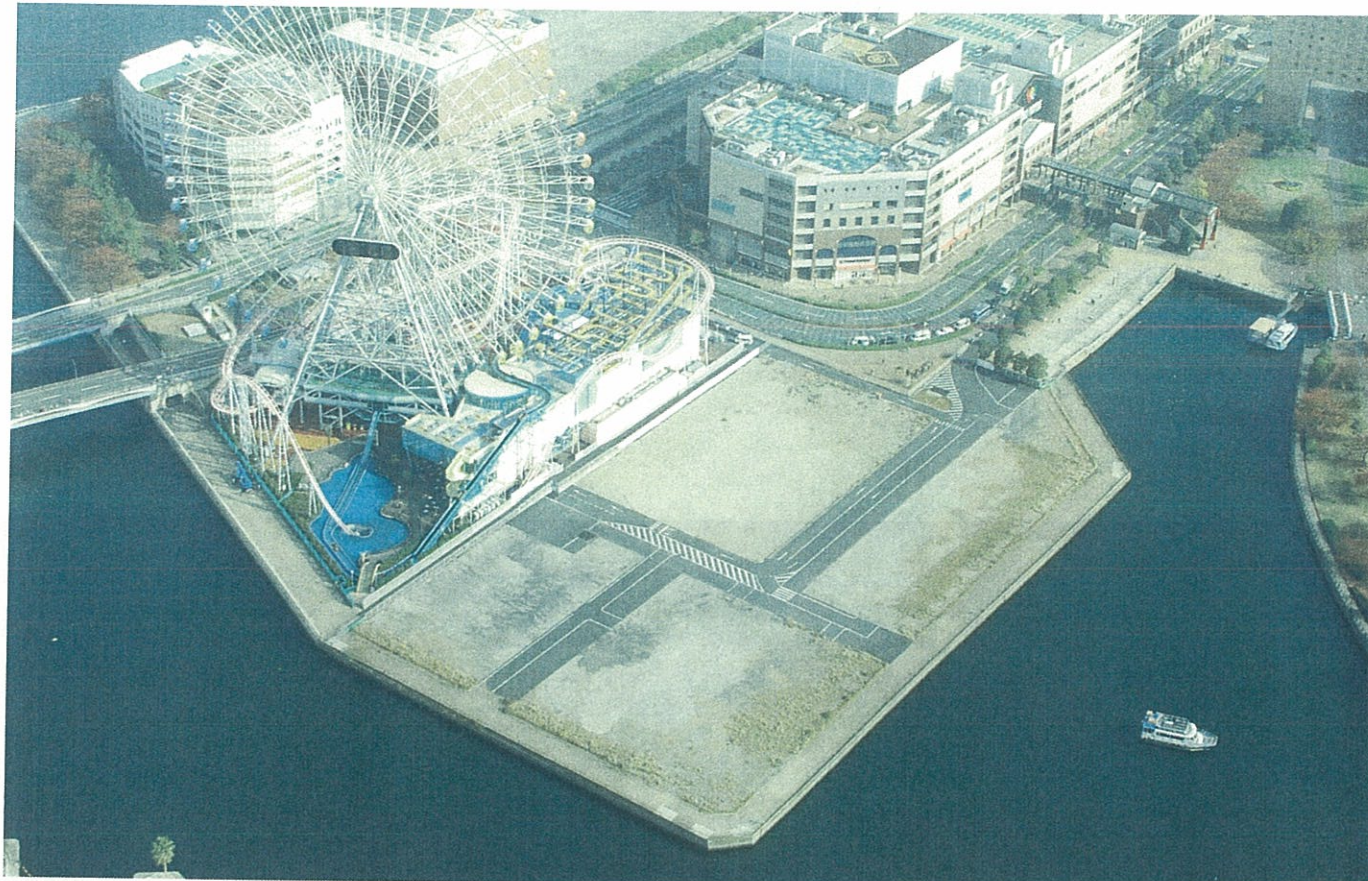
- ・建物の屋上に設置する設備機器は極力見えない位置に配置します。  
また部分的にルーバーで遮蔽します。
- ・屋根面に屋上緑化を施し、緑豊かな見下ろし景観を創出します。
- ・屋根材は、あたたかみのある色彩計画で統一します。



### 街のにぎわいや美しさを演出し、歴史資源が引き立つ夜間景観をつくります

- ・建物低層部やプロムナードに面して設置する照明は夜間の安全性とにぎわいを創出します。
- ・建物の内部照明が外部に漏れるようにします。  
また水面への映り込みを意識した照明計画とし、魅力ある街路空間を演出します。
- ・夜間照明にはあたたかみのある色温度の光源を使用します。
- ・建物頂部に照明演出を施し、街の象徴性を表現します。





ランドマークからの見下ろし



日本丸メモリアルパークより見る



汽車道より見る（南東側）



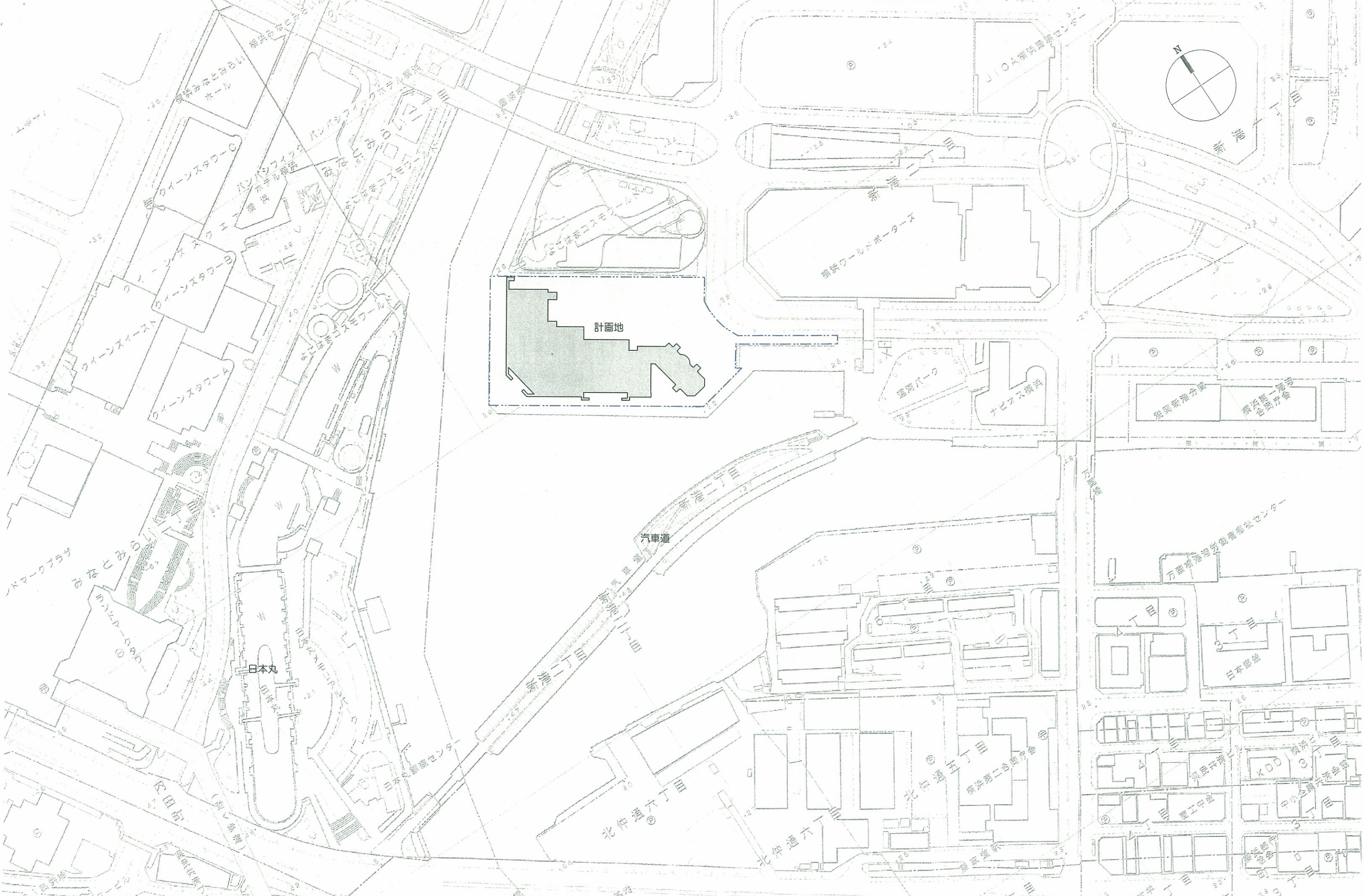
東側から見る



ランドマークからの見下ろし



日本丸メモリアルパークより見る



(仮称) アニヴェルセルみなとみらい横浜計画

